

# 令和2年度 鹿沼市奨学生募集要項

この制度は、教育の機会均等の趣旨に基づき、修学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学できない高校生・大学生に対し学資を貸し付け、ひろく就学の機会を提供することを目的としたものです。

## 1 応募資格

次に該当する者

(1)鹿沼市に住所を有し、学資に困窮している者（修学のための住所異動は可）
(2)修学の意欲があり、かつ、品行方正である者
(3)連帯保証人として、父母又は親族（以下「保護者」という）から1人、及び鹿沼市（原則）に住所を有し、確実な保証のできる者1人（貸付決定後に必要であり、保護者以外で世帯を別とする者）を付することができる者 ※鹿沼市内の連帯保証人を付することが困難な場合は、ご相談ください。
(4)令和元年中の父母等の収入の合計が、別表1に定める基準額以下である者

※学年途中（2年生・3年生等）でも貸付可能

## 2 貸付月額及び期間

区分	貸付月額	貸付期間
大学等	40,000円以内	申請日の翌月分から正規の修学期間
高校等	15,000円以内	〃

※専門学校については、各都道府県知事の認可を受けていること。

## 3 申請の方法

父母等の収入が、本市が定める基準額以下であるか審査します。

審査の結果、「貸付不可」となった方は、個別に連絡差し上げます。

### (1) 貸付申請

区分	内 容
申請期間	令和2年6月29日（月）～
申請先	鹿沼市教育委員会教育総務課総務政策係
申請書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>①奨学金貸付申請書（様式第1号）</li> <li>②令和元年中の父母等の収入を証明する書類（下記のいずれか） <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民税決定通知書又は住民税決定証明書（鹿沼市税務課発行）</li> <li>・源泉徴収票の写し（給与所得者）</li> <li>・申告書の写し（給与所得者以外）</li> </ul> </li> <li>③奨学生推薦書（様式第2号） 令和2年3月まで在学した学校又は、 令和2年4月から在学する学校で受けてください</li> <li>④保護者（連帯保証人）の市提出用納税証明書（鹿沼市納税課発行）</li> <li>⑤在学証明書（在学を証明する書類） 令和2年4月から在学する学校で受けてください</li> <li>⑥口座振替連絡票 申請者本人名義の口座情報を記入してください。裏面に、 通帳の写しを添付してください</li> </ul>

（裏面に続く）

※住民税決定証明書の発行は有料です（1通200円）。市税納税証明書は無料です。鹿沼市役所本庁（税務課・納税課）又は各コミュニティセンターで発行しています。

※「別表2 特別控除額表」の控除の事由③から⑥に該当する方は、ご相談ください。

※申請書類の準備に多少時間がかかりますので、お早めにご用意ください。

※申請書類のほか、ヒアリングシートへの記入をお願いします。

#### 4 返 還 の 方 法 〈無利子〉

貸付終了後1年据え置き、高等学校等は貸付けを受けた期間の2倍、大学等は貸付けを受けた期間の2.5倍の期間内で月賦、半年賦又は年賦のいずれかの方法により、返還していただきます。なお、上級学校へ入学したときは返還猶予制度があります。

※お問い合わせは

鹿沼市教育委員会  
教育総務課総務政策係  
Tel 63-2234

**鹿沼市奨学金貸付制度 《申請から貸付までの流れ》（後期の場合）**

月	教育委員会教育総務課	申請者
随時募集	広報及びホームページでの周知	
	申請書配布 教育委員会教育総務課で配布 ホームページアップ	申請書受取 教育委員会教育総務課で受取り ホームページからダウンロード
申請日の 翌月分 から貸付開 始		令和元年中の父母等の収入を証明 する書類を用意 住民税決定証明書、源泉徴収票 の写し、申告書の写し等
		奨学生推薦書記入依頼 現在在籍している学校の推薦 (高校・大学等)
		在学証明書発行依頼 在学している学校の証明書 (高校・大学・短大・専門学校)
		納税証明書交付申請 市納税課発行 (市提出用納税証明書 無料)
		申請書・口座振替依頼書(通帳写し 添付) 記入
		ヒアリングシート
	申請書及び関係書類受理 教育委員会教育総務課	申請書及び関係書類提出
	選考 教育委員会	
※以下は、奨学金貸付が決定した方の手続きです。		
申請日翌 月	奨学金貸付決定書 誓約書同封	決定書受理 誓約書記入 (世帯を別にする連帯保証人を1名)
	誓約書受理 教育委員会教育総務課	誓約書提出
申請日翌 月 10月下旬 1月	口座振込	



様式第1号(第2条関係)

奨学金貸付申請書

年 月 日

鹿沼市教育委員会 宛

申請者 住所  
氏名 印  
保護者 住所  
氏名 印

奨学金の貸付けを受けたいので、申請します。また、この審査に伴い、鹿沼市教育委員会が私の世帯員の所得に関する情報を調査することについて、同意します。

ふりがな 氏名			男・女	年 月 日生		
貸付希望額	月額 円					
貸付期間	始期 年 月 ~終期 年 月 (年間)					
在学(入学) 学 校	学校 大学		学科		学年(修学年数) 年	
以前奨学生 であった者	学校名			貸付期間 及び貸付額	年 月 ~ 年 月 総額 円	
申請者の 家族 状況	続 き 柄	氏 名	年 齢	職 業	勤 務 先 又 は 学 校 名 ・ 学 年	年 収
			歳			円
家族の住所	電話番号 ( )					
貸付けを 受ける理由						

(注) この申請書を提出するときは、奨学生推薦書(様式第2号)、在学証明書、保護者(連帯保証人)の市税納税証明書を添えて提出すること。





年 月 日

鹿沼市教育委員会 宛

申請者 住所 (現住所を記入)

氏名 ○○ ○○印 (学生本人)

保護者 住所 鹿沼市○○○○

氏名 ○ ○ ○ ○ 印

進学先が未定の方は、高等学校等  
又は大学等の別を記入してくだ  
さい。

奨学金の貸付けを受けたいので、申請します。また、この審査に伴い、鹿沼市教育委員会が私の世帯員の所得に関する情報を調査することについて、同意します。

ふりがな 氏名	○○○○○ ○○○○ ○○ ○ ○ ○ ○ (学生本人)	男・女	H ○ 年 ○ 月 ○○日生			
貸付希望額	月額 ○○○○○ 円 (高校生等限度額 15,000 円・大学生等限度額 40,000 円)					
貸付期間	始期 R2年 ○月 ~終期 R○○年 3月 ( ○ 年間)					
在学(入学) 学 校	○○○ <del>学校</del> ○○○○○ 学科 ○ 学年(修学年数 ○ 年) 大学					
以前奨学生 であった者	学校名		貸付期間 及び貸付額	年 月 ~ 年 月	総額 円	
申請者の 家族 状況	続 き 柄	氏 名	年 齢	職 業	勤 務 先 又 は 学 校 名 ・ 学 年	年 収
	父	○○ ○○	歳 ○○	○○○	○○○○	円 ○○○○○
	母	○○ ○○	○○	○○○	○○○○○○○	○○○○○
	姉	○○ ○○	○○	大学生	○○○○大学 ○ 年	0
	弟	○○ ○○	○○	中学生	○○○中学校 ○ 年	0
	祖父	○○ ○○	○○	農業	自宅	○○○○○
	本人	○○ ○○	○○	高校生	○○○○高校 ○ 年	0
同居家族を全員記入すること						
家族の住所	鹿沼市○○○○		電話番号 ( ○○ ) ○○○○			
貸付けを 受ける理由	自宅外の通学となりアパート代や生活費がかかる、兄弟が同時修学で授業料等の負担が大きい、家族の病気により医療費がかかる、不景気により保護者の収入が減った等詳細な理由 (奨学金を必要とする状況を具体的かつ詳細に記入してください)					

申請時点の年齢・職業等を記入してください。

(注) この申請書を提出するときは、奨学生推薦書(様式第2号)、在学証明書、保護者(連帯保証人)の市税納税証明書を添えて提出すること。





様式第2号(第2条関係)

奨学生推薦書

志望者氏名	
学校名	
修学の意欲	
人物所見	
その他参考事項	

上記の者は、鹿沼市奨学生として適当な者と認め推薦いたします。

年 月 日

学校名

学校長名

印

鹿沼市教育委員会 宛



口座振込連絡表

(奨学金)

決定番号	—						
金融機関名	銀行・金庫 組合・農協						
支店コード (店番号)							
店名	本・支店						
口座番号	普通						
フリガナ 口座名義 (奨学生本人口座)							

上記のとおり報告します。

令和 年 月 日

鹿沼市奨学生

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

連帯保証人 (保護者)

住所 鹿沼市 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

鹿沼市教育委員会 宛

「支店名」「口座種別」「口座番号」「口座名義」が記載されている通帳の写しを添付してください。

例

総合口座通帳  
店番号 168 口座番号 0042111 鹿沼太郎

かぬま銀行

別表1 収入基準額表

世帯人数	高校生等	大学生等
1人	203万円	228万円
2人	265万円	303万円
3人	290万円	336万円
4人	306万円	356万円
5人	321万円	375万円
6人	334万円	390万円
7人	346万円	404万円
8人以上	1人増すごとに14万円を世帯人数7人の基準額に加算	1人増すごとに21万円を世帯人数7人の基準額に加算

- 注) 1 給与所得の場合は、次により計算します。詳細は、基準額計算シートに基づき計算してください。  
 計算額 = 「給与所得者の所得額の計算式」により求めた所得額 - 別表第2の控除額  
 (収入金額及び所得額は、1万円未満を切捨てて計算します。)
- 2 給与所得以外の場合は、次により計算します。  
 計算額 = 収入金額から必要経費(売上原価、営業経費)を差し引いた金額 - 別表第2の控除額

別表2 特別控除額表

控除の事由		特別控除額				
① 母子・父子世帯の場合		49万円				
② 就学者のいる世帯の場合		区 分				
		自 宅 通 学				
		自 宅 外 通 学				
		小 学 校		30万円		
		中 学 校		46万円		
		高等学校		国・公立 35万円	57万円	
				私 立 57万円	78万円	
		高等専門学校	国・公立	1~3年次	35万円	57万円
				4・5年次	40万円	62万円
			私 立	1~3年次	57万円	78万円
				4・5年次	66万円	88万円
		大 学		国・公立 67万円	116万円	
				私 立 111万円	159万円	
専修学校	高等課程	国・公立	35万円	57万円		
		私 立	57万円	78万円		
	専門課程	国・公立	25万円	71万円		
		私 立	79万円	123万円		
③ 障害者のいる世帯の場合		障害者1人につき 99万円				
④ 長期療養者のいる世帯の場合		療養のため経常的に特別な支出をしている年間金額				
⑤ 主たる家計支持者が別居している世帯の場合		別居のために特別に支出している金額。 ただし、71万円を限度とする。				
⑥ 火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯の場合		日常生活を営むために必要な資材あるいは生活費を得るための基本的な生産手段(田・畑・店舗等)に被害があって、将来長期にわたり支出増又は収入減になると認められる年間金額				
⑦ 本人を対象とする控除		高校生 35万円、大学生 67万円				

- 注) 1 控除の事由に2つ以上該当するときは、その特別控除額を併せて控除できます。  
 2 申請者本人分の控除については、⑦を適用し、②には含めません。

◎ 給与所得者の所得額の計算式

父母双方が給与所得者の場合、主たる家計支持者（収入金額が多い方）の収入金額には給与所得計算式（A）を適用し、従たる家計支持者（収入金額が少ない方）の収入金額については所得税法上の計算式（B）を適用します。父母一方のみが給与所得者の場合は、（A）を適用します。

区 分	収入金額の多寡	適用する表
家計支持者 ①	① ≥ ②	（A）の表を適用
家計支持者 ②		（B）の表を適用

給与所得計算式（A）

年間収入金額 (万円未満切り捨て)	所得額 (万円未満切り捨て)
329万円以下	0円
330万円以上 400万円以下	収入金額×0.8 -262.6万円
401万円以上 878万円以下	収入金額×0.7 -222.6万円
879万円以上	収入金額 -486万円

給与所得計算式（B）

年間収入金額 (万円未満切り捨て)	所得額 (万円未満切り捨て)
65万円以下	0円
66万円以上 163万円以下	収入金額 -65万円
164万円以上 180万円以下	収入金額×0.6
181万円以上 360万円以下	収入金額×0.7 -18万円
361万円以上 660万円以下	収入金額×0.8 -54万円
661万円以上 1,000万円以下	収入金額×0.9 -120万円
1,001万円以上	収入金額×0.95 -170万円

# 鹿沼市奨学金貸付申請 収入基準額計算シート

(給与所得者用)

申請者氏名 \_\_\_\_\_

## 1 父母等の収入

令和元年中の父母等の収入 (いずれも万円未満切捨) を記入してください。

父の収入	万円	母の収入	万円
------	----	------	----

## 2 収入金額の計算

令和元年中の父母等の収入金額を本市の基準で計算します。上記「1 父母等の収入」で記載した金額を下表に当てはめて計算してください。

### (1) 父母等のうち収入金額が多い方

年間収入金額 (万円未満切捨)	所得額 (万円未満切捨)	該当区分に ○を付ける	計算結果 (万円未満切捨)
329万円以下	0円		万円
330万円以上 400万円以下	収入金額×0.8-262.6万円		万円
401万円以上 878万円以下	収入金額×0.7-222.6万円		万円
879万円以上	収入金額 - 486万円		万円

### (2) 父母等のうち収入金額が少ない方

年間収入金額 (万円未満切捨)	所得額 (万円未満切捨)	該当区分に ○を付ける	計算結果 (万円未満切捨)
65万円以下	0円		万円
66万円以上 163万円以下	収入金額 - 65万円		万円
164万円以上 180万円以下	収入金額×0.6		万円
181万円以上 360万円以下	収入金額×0.7 - 18万円		万円
361万円以上 660万円以下	収入金額×0.8 - 54万円		万円
661万円以上 1,000万円以下	収入金額×0.9 - 120万円		万円
1,001万円以上	収入金額×0.95-170万円		万円

(1)の結果	万円 + (2)の結果	万円 =	世帯の所得	万円
--------	-------------	------	-------	----

→ ①

## 3 本人に係る控除

申請者本人に係る金額を控除します。該当するものに○を付けてください。

高校生等 35万円	大学生等 67万円
-----------	-----------

→ ②

## 4 収入基準額

別表第1「収入基準額表」から基準額を求めてください。

世帯人数	申請の区分 (○で囲む)	収入基準額
人	高校生等 ・ 大学生等	万円

→ ③

## 5 収入基準額の判定

次の計算方法で、「①-② ≤ ③」となる方は、奨学金の貸付が可能です。

収入金額(①の額)	-	本人控除(②の額)	≤	収入基準額(③の額)
万円		万円		万円

※この判定で「① - ② > ③」となった方は裏面へ

## 6 就学者に係る控除

世帯に申請者以外の就学者がいる方は、別表第2の②に係る額を控除することができます。別表2の②をご覧のうえ、下表に該当者と控除額を記入してください。

氏名	続柄	学校の別 (国公立)	学年 (高等専門学校)	控除額
		( )		万円
		( )		万円
		( )		万円
		( )		万円
		( )		万円
<b>合 計</b>				<b>万円</b> → ④

ここで再度収入基準額の判定をします。収入基準額以下である場合は、貸付可能です。

①-②の額	—	就学者控除額(④)	≤	収入基準額(③)
万円		万円		万円

※この判定でも計算結果が「① - ② - ④ > ③」となった方は次へ

## 7 特別控除額

次に該当する場合は、これまでの控除に加え、別表第2の①及び③から⑥までに該当する額を控除することができます。詳細は、教育総務課にご相談ください。

事由 (別表2参照)	該 当	控除額
①母子世帯・父子世帯		万円
③障害者 ( ) 級のいる世帯	人	万円
④長期療養者のいる世帯		万円
⑤主たる家計支持者が別居する世帯	続柄 ( )	万円
⑥災害等の被害を受けた世帯		万円
<b>合 計</b>		<b>万円</b> → ⑤

ここで再度収入基準額の判定をします。

①-②-④の額	—	特別控除合計(⑤)	≤	収入基準額(③)
万円		万円		万円

※控除等の計算は、以上です。

※計算額が特別控除額を算入しても収入基準額(③)の額を超える場合は、本市が定める基準に該当しないため、奨学金の貸付を行うことはできません。



令和2年度鹿沼市奨学金新規申込者ヒアリングシート

申請者名(学生)			記入者 記入日	( / )
持参	本人 ・ 父 ・ 母 ・ 祖父 ・ 祖母 ・ その他 ( )			
授業料等に関すること				
授業料	円/月・半期・年 (減額・免除 有・無)			
生活に関すること				
自宅通学 ・ 自宅外通学		( アパート等 ・ 下宿 ・ 寮 ・ その他 )		
		家賃	円/月	
仕送り等	円/月			
その他	アルバイトの 有・無 通学方法 車・電車・バス・自転車・徒歩・その他( )			
家族の状況等に関すること				
兄弟姉妹の状況	兄 ( ) 人 ・ 姉 ( ) 人 ・ 弟 ( ) 人 ・ 妹 ( ) 人 社会人 ・ 大学生 ・ 高校生 ・ 中学生 ・ 小学生 ・ 幼児			
その他	兄弟の奨学金利用等			
他制度との併用に関すること				
他制度併用(希望)	無	有	制度名	日本学生支援機構 その他 ( )
過去の鹿沼市奨学金貸付の有無	無	有 (時期: )	、貸付金額総額: (円)	
■鹿沼市の奨学金制度を何でお知りになりましたか。該当するものを○で囲んでください。				
1. 市広報    2. 市ホームページ    3. 所属学校にて 4. 鹿沼ケーブルテレビ    5. 兄弟が利用    6. その他 ( )				
■卒業後に希望する進路についてお聞かせください。				
希望する居住地	市内・県内・県外		職業等	
■鹿沼市では、市内企業の情報発信を検討しておりますが、どのような情報を希望しますか。				
1. 企業情報    2. 企業見学会    3. 合同面接会    4. その他 ( )				
文書の送付先	実家 ・ 本人住所:			
本人連絡先	携帯番号 (Tel )			
保護者(連帯保証人)連絡先	自宅電話番号 (Tel )、携帯番号 (Tel )			

